

令和6年度
一般会計補正予算

7億2511万円を追加し

総額 **176億7511万円**

物価高騰対策
緊急支援給付金事業に

2億2994万円

救助対応型水槽付き
消防ポンプ自動車を取得



取得予定価格 **1億890万円**

水槽を積載しているので、火災現場でいち早く放水することができます。2.9トンまで吊り上げることのできる小型クレーンなど最新の資機材も装備。様々な災害に迅速に対応し、市民の生命と財産を守ります。

- 農業委員会委員
- 菅野 正敏
 - 戸羽 光子
 - 鈴木 秋雄
 - 新沼 富喜
 - 菅野 雅一
 - 近江 周
 - 板林 伸
 - 白川 周
 - 村上 文
 - 村上 文
 - 菅野 雄
- 固定資産評価員
- 佐々木 学
 - 氏 (54歳) 高田
 - 氏 (62歳) 矢作町
 - 氏 (74歳) 小友町
 - 氏 (64歳) 米崎町
 - 氏 (77歳) 高田町
 - 氏 (72歳) 気仙町
 - 氏 (67歳) 気仙町
 - 氏 (65歳) 竹駒町
 - 氏 (75歳) 横田町
 - 氏 (71歳) 矢作町
 - 氏 (70歳) 矢作町

選任、任命に同意

歳出

560万円増

地域力創造
専門家派遣事業費

問

560万円を計上した派遣事業の内容は。

答

総務省の事業で、外部専門家を招いて指導・助言をいただき地域活性化を図る制度。本年度は道の駅高田松原に派遣する予定。



道の駅高田松原

歳出

180万円増

能登半島地震被災地支援事業費

問

能登半島地震被災地支援事業費が計上されているが活動内容は。

答

派遣職員の旅費と現地での移動手段としてレンタカー代を計上している。活動詳細については、今後の実施となるため内容は未定。これまでの実施内容としては、家屋の被害調査、公費解体の事業に関わっている。



能登半島の被災地支援活動を報告

第2回定例会は、6月14日から27日まで14日間の会期で行いました。物価高騰対策緊急支援給付金や特定空家等解体工事費などが盛り込まれた本年度一般会計補正予算（7億2511万円追加し、176億7511万円）をはじめ、陸前高田斎苑火葬炉改修工事、救助対応型水槽付き消防ポンプ自動車の取得など議案3件、専決処分3件、条例案4件を原案通り承認・可決しました。また、農業委員会委員の任命など人事案に同意し、繰越計算書など3件の報告を受けました。一般質問には10人の議員が登壇し、市長の公約や地域活性化策など市政全般にわたり論戦を展開しました。最終日には、議会会議規則や委員会条例及び個人情報保護に関する条例改正の発議3件を可決し閉会しました。

歳出

2億2994万円増

物価高騰対策
緊急支援給付金事業費

問

事業の対象人数は。

答

現状は概算となるが4千人程度を見込んでいます。

物価高騰への支援給付金とは？
令和6年度に新たに住民税均等割非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に1世帯10万円の給付金と、同世帯の18歳以下の子ども1人当たり5万円を支給。また減税額4万円に満たない場合に調整給付を行う。



一般会計の主な補正予算項目

歳入(収入) (万円未満切り捨て)		
項目	補正額	補正の理由
財政調整基金繰入金	+7211万円	前年度会計の決算が確定しないために繰り入れた。
他団体等支援金	+100万円	公益財団法人からの支援金。米崎小学校の遊具購入に活用される。
東日本大震災絆基金繰入金	+721万円	クレセントシティ市民交流団交流事業と市内小中学校の電子黒板購入費に充てる。

歳出(支出) (万円未満切り捨て)

項目	補正額	補正の理由
物価高騰対策緊急支援給付金事業費	+2億2994万円	概算で4千人の定額減税事業に取り組む。
地域力創造専門家派遣業務委託料	+560万円	総務省の事業で、道の駅の販売促進等に助言・指導を行う外部専門家を招く。
能登半島地震被災地支援事業費	+180万円	派遣職員の旅費と現地での移動手段としてレンタカー代を計上。